

正本カード_感染症対策運用規程 v4.2(外来・病棟・処置室)

- ・ 文書種別: 正本カード
 - ・ 対象規定: 感染症対策運用規程 v4.2
 - ・ 所管: 医療安全管理室／感染制御チーム
 - ・ 適用: 外来・病棟・処置室に勤務する全職種(常勤・非常勤・夜勤含む)
-

1. 基本方針・適用範囲

- ・ 目的: 院内感染の発生・拡大を防ぎ、患者・職員・来院者の安全を守る。
 - ・ 適用: 外来・病棟・処置室の全職種。訪問診療は別規程を準用。
 - ・ 方針:
 - 全患者を潜在的感染源とみなし「標準予防策」を徹底。
 - 状況に応じて飛沫・接触・空気予防策を追加。
 - WHO 5 Moments に基づく手指衛生を基本行動とする。
-

2. 発熱・呼吸器症状患者への対応

- ・ 受付／トリアージで
 - 体温 37.5℃以上、または咳・呼吸困難等あり → 一次待機室へ速やかに誘導。
 - ・ 一次待機室到着後 5 分以内に
 - トリアージ記録「T-Form-07」を作成し電子カルテへ登録。
 - 必要時、診察医・医療安全管理室へ連絡。
-

3. 個人防護具(PPE)と手指衛生

- ・ 病棟・外来・処置室へ入る職員は
 - サージカルマスクを正しく装着(鼻出し・顎マスク禁止)。
 - 入室直前に ABHR で 15 秒以上手指消毒。
 - ・ 患者ケアの前後・PPE 脱衣後など、WHO 5 Moments に沿って手指衛生。
 - ・ 使用済み PPE は、定められた廃棄容器へ直ちに廃棄。
-

4. 職員の健康管理・休憩室

- ・ 同居家族を含め、身近に発熱・感染症疑いがある場合
→ 必ず所属長へ申告し、出勤可否の判断を仰ぐ(無申告出勤は禁止)。
- ・ 診療・ケア中は常時マスク着用。

- 休憩室での飲食を伴う対面滞在は最小限。
 - 15 分超の会話時は座席間隔と換気を徹底。
 - 感染拡大期には利用状況を記録。
-

5. 記録・報告・教育

- 記録：
 - T-Form-07: 一次待機室対応を行った全症例で作成し電子保存。
 - 感染症疑いに関するインシデント／ヒヤリハット:
→ 「EV-IR-01」で医療安全管理室へ報告。
 - 教育：
 - 本規程と関連正本カードについて、年 1 回以上 全職種研修で周知。
 - 正本カードは外来受付・一次待機室前・病棟 NS・処置室入口に掲示し、周知文言を明示(例:「症状時は一次待機室へ直行・医療安全へ連絡」など)。
-

6. 違反時対応・連絡先

- マスク不適切着用、申告せず出勤、著しい手指衛生不履行等
→ 所属長が事実確認し、必要時 医療安全・人事と協議。
→ 悪質または反復する場合は就業制限・停止など懲戒対象。
 - 連絡先：
 - 平常時: 医療安全管理室(内線 1234)
 - 夜間・休日: 当直医(PHS 5678)
-

7. 本体規程へのリンク(DMS)

- 院内規定(本体): 感染症対策運用規程 v4.2

DMS1: https://anyaneko.com/wp-content/uploads/2025/11/infection-control-rule-v4_33.docx